

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
絵の具と水のハーモニー	絵	2	筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。	☆ 知 絵の具に混ぜる水の量を変えて、描き方を工夫する。	知 筆の動かし方や水の量を変えて描くことを通して、形や色などの感じがわかっている。	筆の動かし方や水の量を変えて描くことを通して、形や色などの感じがわかるとともに、水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を自分なりに工夫して表している。	絵の具、画用紙、新聞紙など	
				技 水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫して表している。	技 水彩絵の具や用具を使ってできる形や色、筆の動かし方でできる跡の違いなど、いろいろな表し方を工夫して表している。			
				思 描き方を試しながら、表したいことを考える。	発 絵の具遊びで描いた形や色の感じをもとに、好きな形や色、描く心地よさから思いを広げて表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。			鑑 自分や友達作品のよさや面白さ、表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				学 描き方を試しながら、絵の具で描くことをたのしむ。	主 描く心地よさを味わい、いろいろな描き方を試して絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。			
ふわふわ空気 つんでつなげて	遊	2	空気を入れたビニル袋の心地よさを味わいながら活動する。	知 空気を入れたビニル袋の積み方やつなぎ方を工夫する。	知 膨らませたビニル袋をたくさんつくったり触れたりしながら、形や色、ビニル袋の感触や活動する場所の感じがわかっている。	膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを十分に味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。	ビニル袋、セロハンテープなど	
				技 膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくっている。	技 膨らませたビニル袋の積み方やつなぎ方など、体全体を働かせ、活動を工夫してつくっている。			
				思 空気を入れたビニル袋で、どんなことができるか考える。	発 膨らませたビニル袋を積んだりつなげたりしながら活動を思いつき、どのように活動をするか考えている。			鑑 膨らませたビニル袋の形や色、感触、場所などの感じについて、感じ取ったり味わったりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆ 学 ビニル袋のふわふわした心地よさをたのしむ。	主 膨らませたビニル袋の感触などの心地よさを味わい、表現する学習活動に進んで取り組もうとしている。			
生まれかわった なかまたち	立	4	古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。	知 材料の形や色を生かした組み合わせ方を工夫する。	知 材料に触れたり変化させたりして表す形や色の組み合わせの感じがわかっている。	衣類や布などの多様な材料を組み合わせながら、材料の形を生かして仲間の形を思いつき、どのように表すか考えている。	着られなくなったもの、モール、ひも、輪ゴム、新聞紙、接着剤、ビニル袋、はさみなど	
				技 材料を変化させることを試しながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	技 材料を変化させることを試しながら、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。			
				☆ 思 いろいろな布の形や色からつくりたい仲間を考える。	発 材料を変化させて表す形や色などをもとに表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。			鑑 材料を変化させて表す形や色のよさや美しさ、表し方から自分の見方や感じ方を広げている。
				学 集めた材料から仲間をつくることをたのしむ。	主 材料を変化させて表すことに興味をもち、立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。			

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
カラフルねん土でマイグッズ	工	4	軽量紙粘土に絵の具を混ぜて、使ってたのしいものをつくる。	知	カラフル粘土をつくりながら、形や色の感じがわかっている。	カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使う目的や使い方などを考えて、たのしく使うものを思いつき、ふさわしい形や色など、どのように表すか考えている。	紙粘土、空き容器、接着剤、絵の具、ビニル袋など	
				技	カラフル粘土を使って、つくり方を工夫する。			これまでの経験を生かし、紙粘土に色をつけて形づくりながら、使ってたのしいものの表し方を工夫して表している。
				☆ 思	カラフル粘土と空き容器を組み合わせて、たのしく使えるものを考える。			カラフル粘土でできる形や色の感じや自分のイメージから、使ってたのしいものを思いつき、どのように表すか考えている。
				学	カラフル粘土でつくることをたのしむ。			つくったものを生活の中で使うことから、形や色のよさや美しさ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
かげのへんしん	遊	2	友達と協力して、身のまわりの影を変化させることや影のよさを味わうことをたのしむ。	知	材料の形や組み合わせから影の表し方を工夫する。	友達と協力しながら、手や体全体で影に働きかけ、影を変化させることや変化した感じなどをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。	身近なものなど	
				技	影の形や組み合わせから影の表し方を工夫する。			影との関わりを通して、影の形や変化した感じがわかっている。
				☆ 思	影の形から、表したいことを考える。			見つけた影をもとに、影をつけたしたり組み合わせたりするなどして、手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。
				学	友達と協力して、影を変身させることをたのしむ。			影との関わりを通して、影の形や変化した感じなどをもとに造形的な活動を思いつき、どのように活動するか考えている。
光サンドイッチ	工	4	色セロハンなどをトレーシングペーパーではさみ、光を通すときれいな飾りをつくる。	☆ 知	光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。	光を通す材料を扱ったり形を変えたりしながら、光があたるときの材料の形や色などの感じがわかるとともに、光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたりにして、表し方を自分なりに工夫して表している。	ボール紙、トレーシングペーパー、色セロハン、ホチキス、接着剤、カッターナイフ、カッターマット、定規、はさみなど	
				技	光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。			光や影を意識して、材料の形や色を試したり、つくり方を考えたりにして表し方を工夫して表している。
				☆ 思	光を通した材料からつくりたい飾りを考える。			光を通した材料の形や色の感じや組み合わせから感じたことをもとに表したい飾りを思いつき、どのように表すか考えている。
				学	光にかざしたときの材料の美しさをたのしむ。			光を通した材料の形や色に着目し、自分や友達の作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。
					光を通したときの材料や飾りの美しさ味わい、飾りをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。			

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
はこの中の世界	工	4	箱や紙粘土を工夫して使いながら、表したい世界をつくる。	☆ 知 箱の形や色、材料の使い方を工夫する。	知 箱や紙粘土などの材料を扱ったり、形を変えたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかっている。	箱や紙粘土などの材料を扱ったり、形を変えたりすることを通して、材料の形や色などの感じがわかるとともに、箱や紙粘土などの材料やはさみなどの用具を適切に扱い、これまでの経験を生かしながら自分なりに表し方を工夫して表している。	空き箱、紙粘土、身近な材料、接着剤、絵の具、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど	
				技 箱や紙粘土などの材料やはさみなどの用具を適切に扱うとともに、これまでの経験を生かしながら表し方を工夫して表している。	技			
				思 箱の中につくりたい世界を考える。	発 紙や箱の形から表したい世界を想像して、どのように表すか考えている。			発
				鑑 自分や友達作品を鑑賞することを通して、材料や表し方の工夫を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑			
学 箱の中をつくることをたのしむ。	主 材料を選んだり、表し方を工夫したりして、箱の中の世界をつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	主						
けずってつけてわたしたちの形	立	2	粘土を削ったりつけたりしながら、表したいことを思いつき、立体に表す。	知 粘土の削り方やつけ方を工夫する。	知 粘土の削ったりつけたりする行為を通して、粘土でできる形の感じがわかっている。	さまざまな形に削ったりつけたりする中で、塊の粘土の形を変えながらどんな形にしたいか、思いついたことを形にしようとし、どのように表すか考えている。	土粘土、かき出しべら、粘土べら、粘土板、タオルなど	
				技 手や指、道具を使い、粘土の表し方を工夫して表している。	技			
				☆ 思 粘土を削ったりつけたりして、どんな形ができるか考える。	発 削ったりつけたりしながら、どんな形にしたいか、どのように表すか考えている。			発
				鑑 いっしょにつくっている友達の作品や、他のグループの作品からよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑			
学 粘土を削って、友達とつくることをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、削ったりつけたりして立体に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	主						
すきな色ですてきな花を	絵	2	身のまわりにある花に注目し、感じたことをもとに、好きな色の絵の具で描く。	知 色の組み合わせ方や筆の使い方を工夫する。	知 好きな色の絵の具を選び、身のまわりにある花を絵に表すことを通じて、表れる形や色などの感じがわかっている。	水彩絵の具で、好きな色を筆につけて、思いのままに描く心地よさを味わい、表したいイメージに合わせて、花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	絵の具、画用紙など	
				技 表したい感じに合わせて、絵の具の色の組み合わせや、筆の動かし方を工夫して表している。	技			
				思 見つけた花の形や色をもとに、表したい感じを考える。	発 花の形や色、匂いなど、感じたことをもとに、自分の表したい花の形や色を見つけ、どのように表すか考えている。			発
				鑑 絵の具の色の組み合わせ方や筆の動かし方の工夫によって表れる形や色などのよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑			
☆ 学 好きな色の絵の具をたっぷりつけて描くことをたのしむ。	主 描く心地よさを味わい、好きな色で花を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	主						

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具		
にじんで広がるものがたり	絵	4	白いクレヨンやパスの形を生かし、絵の具をにじませた世界を描く。	知	にじみのできる形や色の組み合わせを工夫する。	知	クレヨンやパスで描いた形の中に絵の具をたらしてにじみをつくりながら、形や色などの感じがわかっていく。	にじみのできた形や色の感じから、自分のイメージをもち、より豊かな表現を目指して考えたことやお話を思いつき、粘り強くどのように表すか考えている。	絵の具、クレヨン、パス、画用紙、色画用紙など
				技	にじみのできる形や色やそれらの組み合わせをいろいろ試して、表し方を工夫して表している。	技	にじみのできた形や色の感じから自分のイメージをもち、表したいことやお話を思いつき、どのように表すか考えている。		
				☆思	にじみのできた形や色からお話を考える。	発	自分や友達の作品を見て、よさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	にじみで表すことをたのしむ。	主	にじみを生かして自分の世界を表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		
ようこそ！アミアミワールド	遊	2	網を使って場所を生かした活動をする。	知	場所に合った網の使い方を工夫する。	知	網に触れたり、場所に関わったりしながら、その形や色などの感じがわかっていく。	大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、活動を思いついたり、どのように活動するか自分なりに考えている。	網、身近な材料、洗濯ばさみ、ビニルひもなど
				技	網を広げたり、ねじったり、くるんだり、結んだりして手や体全体を十分に働かせ、活動を工夫してつくっている。	技	大きな網をいろいろな場所にかけることからイメージを広げ、活動を思いつき、どのように活動するか考えている。		
				☆思	網をいろいろな場所に引っかけることから、たのしい活動を考える。	発	自分や友達の活動のよさや面白さを感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学	網を使って、友達と協力して活動する。	主	友達と協力しながら、網を使った学習活動に進んで取り組もうとしている。		
このカタチへんしんすると	絵	2	同じ形の表と裏で絵が変身するクイズをつくって友達とたのしむ。	知	表と裏で絵が変身するように形を工夫する。	知	表と裏で絵が変身するクイズを通して、同じ形でも見る人によって違って見えるおもしろさに気づき、形や色の感じがわかっていく。	変身する絵を表したりクイズをしたりすることに関心をもち、友達のアイデアや作品のよさや自分との違いに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。	カラーペン、色鉛筆、画用紙、はさみなど
				技	表したいクイズの絵に合わせて、描き方を工夫して表している。	技	見方を変えることから描きたい絵の裏の絵を思いつき、どのように表すか考えている。		
				☆思	見方によって違うものに見えるものを考える。	発	クイズを通して、友達の作品の表し方について感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				☆学	友達の作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ。	主	友達のアイデアや作品のよさに気づき、つくった作品で互いにクイズをたのしむ学習活動に進んで取り組もうとしている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
みんなで作ろうねん土ランド	立	2	友達と協力して、たのしい「ねん土ランド」をつくる。	知 粘土でできることを生かして、立体的な表し方を工夫する。	知 粘土に触れたり動かしたりすることを通して、粘土でできる形の感じがわかっている。	自他の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土に働きかけて自由に表現してつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	土粘土、粘土板、粘土べら、タオルなど
				技 握る、ひねる、積み上げる、つなげるなど、手のさまざまな部分を使い、粘土の表し方を工夫して表している。	発 粘土の感触や働きかけてできた形などからイメージを広げ、表したい「ねん土ランド」を思いつき、どのように表すか考えている。		
				思 どんなねん土ランドにしたいのか考える。	鑑 つくりながら自分や友達の表し方のよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。		
				☆学 友達とアイデアを出し合いながら、つくることをたのしむ。	主 自他の感覚やイメージを共有しながら、友達と協力し、粘土でつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
ためしてあそんでマグネット	工	4	磁石と身近な材料で、磁石の動きを生かしたおもちゃをつくる。	☆知 動きの感じに合わせて、形や色を工夫する。	知 磁石の動きをもとに箱や色紙など身辺材料を組み合わせながら、形や色などの組み合わせの感じや動きの特徴がわかっている。	形の色の感じや、磁石の動きの特徴を理解するとともに、箱や色紙などの材料や用具を適切に扱い、手や体全体を十分に働かせ、自分の表したいおもちゃに合わせて、表し方を自分なりに工夫して表している。	磁石、空き箱や紙皿、割り箸、工作用紙、色画用紙、接着剤、セロハンテープ、両面テープ、はさみ、カッターナイフ、カッターマットなど
				技 箱や色紙などの材料や用具を適切に扱うとともに、手や体全体を十分に働かせ、自分の表したいおもちゃに合わせて表し方を工夫して表している。	発 箱や色紙、身辺材料などの組み合わせ方や磁石の特徴から感じたこと、想像したことから表したいことを見つけ、動きや形や色などを生かしながらどのように表すか考えている。		
				思 動きを試しながらつくりたいものを見つける。	鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 磁石の力を感じて、たのしみながらつくる。	主 つくりだす喜びを味わい、磁石の動きを生かしたおもちゃをつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。		
未来にタイムスリップ	絵	4	将来自分がなりたい夢を想像して絵に表す。	知 場面に合った表し方を工夫する。	知 夢をかなえた瞬間を思い浮かべ、その場面に合ったポーズと形や色の感じがわかっている。	将来の自分を豊かに想像し、夢をかなえた場面を具体的に思いつき、自分や周囲の様子などをどのように表すか積極的に考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、鉛筆、画用紙など
				技 描画材料を使った経験を生かし、夢をかなえた瞬間の場面に合わせて表し方を工夫している。	発 自分が夢をかなえた場面を思いつき、どのように表すか考えている。		
				☆思 夢をかなえた場面を考える。	鑑 自分や友達の作品の造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 自分の夢を表すことをたのしむ。	主 自分の夢を絵に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性があります。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具
ふしぎな乗りもの	絵	4	身近なものがどんな乗り物になったら面白いと考えて、絵に表す。	知 乗り物の形や色などの描き方を工夫する。	知 不思議な乗り物を絵に表すことを通して、身近なものの形や色の感じがわかっている。	自分の身近にあるものの形や特徴から不思議な乗り物を想像を広げて豊かに発想し、形や色、その組み合わせ方などをよく考えながらお話のイメージを広げ、主体的に表し方を考えている。	絵の具、クレヨン、パス、カラーペン、画用紙など
					技 不思議な乗り物の形や色を、自分の思いに合わせて、描き方を工夫して表している。		
				☆ 思 不思議な乗り物やお話を考える。	発 身近なものからイメージを広げ、思いついた不思議な乗り物やお話を考えている。		
					鑑 形や色、その組み合わせや構成のよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
				学 不思議な乗り物を描くことをたのしむ。	主 想像を膨らませることに関心をもち、不思議な乗り物を描く学習活動に進んで取り組もうとしている。		
トントんくぎ打ち コンコンビー玉	工	4	板材に釘を打って、ビー玉が転がるコースターをつくって遊ぶ。	知 釘の打ち方や材料のつけ方を工夫する。	知 金づちを使って釘を打ったり、材料を打ちつけたりしながら、形や色の感じがわかっている。	釘打ちをたのしみ、たくさんの釘を板に打ち込み、より面白いコースにしようとして作り、友だちと話し合いながら、コースをつくったりつくったコースで遊んだりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	板材、身近な材料、釘、金づち、釘抜きなど
					技 釘や金づちを適切に扱い、釘の打ち方や材料のつけ方を工夫して表している。		
				思 ビー玉が転がるたのしいコースを考える。	発 ビー玉が転がるコースを考えながら、つくりたいものの発想を広げ、釘の位置を試したり、ビー玉の動きを確かめたりしながら、転がるとたのしい仕組みを考えている。		
			☆ 学 釘打ちの心地良さを味わいながら、みんなでコースづくりをたのしむ。	主 自分や友達がつくったコースで遊び、それぞれのよさや面白さを感じ取り、自分の見方や考え方を広げている。	釘を打つ感触を味わい、友達と協力して、コースをつくったりつくったコースで遊んだりする学習活動に進んで取り組もうとしている。		
えっへん！わたしが主人公です	鑑	2	絵画に描かれた架空の生き物の中から気に入った生き物を選び、感じたことや、想像したことを描き、考えたことを友達と話し合う。	知 作品に描かれた生き物を見て、形や線、色の特徴に気づく。	知 ジョアン・ミロの「耕作地」に描かれた架空の生き物を主人公にして絵を描きながら、形や線、色などの感じがわかっている。	気に入った架空の生き物の形や線、色などの感じをもとに、自分なりのイメージをもってお話を考えて絵を描き、気づいたことや想像したことについて、友達と話し合い、互いの考えの違いなどに気づき、自分の見方や考え方を広げている。	作品、色鉛筆、画用紙など
					技 気に入った架空の生き物の表し方を工夫して表している。		
				☆ 思 作品に描かれた生き物から想像を広げてお話を考える。	発 気に入った架空の生き物の形や線、色などの感じをもとに、自分なりのイメージをもってお話を考えたり、絵を描いたりしている。		
			学 作品に描かれた生き物から想像を広げることをたのしむ。	主 気づいたことや想像したことについて、友達と話し合い、自分の見方や考え方を広げている。	想像をしたことを描いたり、友達と互いの考えを話し合ったりする学習活動に進んで取り組もうとしている。		

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具		
のこぎりザクザク つないでつけて	工	4	角材をたくさんののこぎりで切り、木片を組み合わせてつくりたいものをつくる。	☆ 知	のこぎりの使い方を知り、木切れの組み合わせ方を工夫する。	知	のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかっている。	のこぎりで角材を切りながら、いろいろな角材の形の感じがわかるとともに、のこぎりの扱いに十分に慣れ、安全な持ち方や切り方ができて、木切の組み合わせ方を工夫して表している。	角材、接着剤、のこぎり、紙やすり、クランプなど
				技	のこぎりの扱いに慣れ、安全な持ち方や切り方ができて、木切の組み合わせ方を工夫して表している。	技	のこぎりの扱いに慣れ、安全な持ち方や切り方ができて、木切の組み合わせ方を工夫して表している。		
				思	木切れを組み合わせながら、つくりたいものを考える。	発	切ってきた形の感じから想像を広げ、つくりたいものを思いつき、どのように組み合わせて表すか考えている。		
				鑑	自分や友達作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑	自分や友達作品のよさや面白さ、いろいろな表し方などについて感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
学	のこぎりで角材を切ったり、木切れを組み合わせたりをたのしむ。	主	木の感触を味わい、のこぎりで角材を切り、木片を組み合わせてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。	主	木の感触を味わい、のこぎりで角材を切り、木片を組み合わせてつくる学習活動に進んで取り組もうとしている。				
うつしてふえるよ でこぼこさん	絵・版	4	凹凸のある身近な材料を台紙に貼って、版画に表す。	☆ 知	版のつくり方や写し方を工夫する。	知	身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかっている。	身近にある凹凸のある材料を集めたり、版にして紙に写したりすることを通して、表れる形や色の感じがわかるとともに、「でこぼこさん」が写すことで増えることを生かし、写す位置やインクの色合いを意識して写し方を工夫して表している。	身近な材料、厚紙、接着剤、版画インク、版画用紙、版画用具、はさみ、新聞紙など
				技	身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インク色の組み合わせ方や写し方を工夫して表している。	技	身近にある凹凸のある材料を組み合わせた版のつくり方や、インク色の組み合わせ方や写し方を工夫して表している。		
				思	どんな「でこぼこさん」にするか考える。	発	「でこぼこさん」を想像して版の形を考えたり、イメージを広げて写し方を考えたり、写したのから想像を広げたりしている。		
				鑑	友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑	友達と作品を見せ合い、よさや面白さ、いろいろな表し方を感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
学	版をつくったり、写したりすることをたのしむ。	主	身近な材料の凹凸に関心を持ち、「でこぼこさん」をつくったり写したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	主	身近な材料の凹凸に関心を持ち、「でこぼこさん」をつくったり写したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。				
わくわく！ スーパーランドセル	工	6	ランドセルの中の世界を想像し、思いついたことを段ボールで表す。	知	つくりたいものに合わせて材料を選び、つくり方を工夫する。	知	ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、材料の形や色などの感じがわかっている。	ランドセルの中の様子を表す活動に関心を持ち、自分や友達作品のよさやつくりだす喜びを味わい、想像の世界をランドセルの中に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	段ボール箱、ビニルロープ、身近な材料、色紙、接着剤、絵の具、はさみ、段ボールカッターなど
				技	ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、これまでの経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	技	ランドセルの中の様子を想像して表す活動を通して、これまでの経験を生かし、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。		
				思	ランドセルの中の様子を思い浮かべて、あるとよいものを考える。	発	ランドセルの中の様子について想像したことから材料などを生かし、表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。		
				鑑	自分や友達作品の工夫や造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。	鑑	自分や友達作品の工夫や造形的なよさを感じ取り、自分の見方や感じ方を広げている。		
☆ 学	つくることをたのしんだり、友達と見せ合ったりする。	主	自分や友達作品のよさやつくりだす喜びを味わい、想像の世界をランドセルの中に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。	主	自分や友達作品のよさやつくりだす喜びを味わい、想像の世界をランドセルの中に表す学習活動に進んで取り組もうとしている。				

■第3学年 題材ごとの観点別評価規準（例）

◎配当時数、主な学習活動、評価規準等は今後変更される可能性がございます。予めご了承ください。

題材名	内容	時間数	題材の内容	学習のめあて	観点別評価規準	十分満足できると考えられる具体的な姿の例	主な材料・用具	
みんなでオン・ステージ	工	6	空き箱と輪ゴムなどを使って弦楽器をつくり、みんなで演奏してたのしむ。	知 楽器の形や色、つくり方を工夫する。	知 空き箱と輪ゴムを組み合わせながら、形や色などの感じや音の出る仕組みの特徴がわかっている。	弦楽器に表す活動に関心をもち、つくりだす喜びを味わい、弦楽器づくりをしたり、友達といっしょに演奏したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。	空き箱、紙づつや木の棒、輪ゴム、身近な材料、工作用紙、接着剤、絵の具、カラーペン、はさみ、のこぎりなど	
				技 箱や角材などの材料や用具を適切に扱い、これまでの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したい弦楽器に合わせて表し方を工夫して表している。	技 箱や角材などの材料や用具を適切に扱い、これまでの木や接着剤などについての経験を生かし、手や体全体を十分に働かせ、表したい弦楽器に合わせて表し方を工夫して表している。			
				思 どんな弦楽器にするか考える。	発 輪ゴムのかけ方やネックの取り付け方、空き箱や容器の特徴から感じたことや想像したことから表したいことを見つけ、どのように表すか考えている。			鑑 自分や友達の作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて感じ取ったり考えたりして、自分の見方や感じ方を広げている。
				☆学 友達といっしょにつくったり、演奏したりすることをたのしむ。	主 つくりだす喜びを味わい、弦楽器づくりをしたり友達と演奏したりする学習活動に進んで取り組もうとしている。			